

アソシ 阿蘇市



佐藤 義興 市長

平成28年熊本地震により被災した交通インフラも開通し、様々な分野での地域経済対策に取組み、活力ある新しい時代の始まりを予感していましたがコロナ禍により経済・教育など全てにダメージを受けました。今後あらゆる可能性を求め、ソフト・ハードの発展的創意工夫など、財政健全化及び地域活性化に緩まない対策を講じ、新しい生活様式を身につけながら、持続可能な魅力ある新しい阿蘇市として地域再生計画を推進してまいります。

- 寄付御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額100万円以上)
 - ・感謝状贈呈(寄付額10万円以上)
 - ・地公体広報誌掲載
 - ・HP掲載
 - ・視察受入
 - ・功労者表彰推薦
 - ・紺綬褒章推薦
 - ・その他(webTVアソ等による紹介)

人口	面積	産業構造	交通アクセス
総人口……24,930人 男……11,763人 女……13,167人 世帯数……9,987世帯	総面積……367.30km ² 農用地……90.40km ² (24.0%) 森林……211.46km ² (56.2%) 宅地……11.82km ² (3.1%)	第1次産業……7,796(6.7%) 第2次産業……44,115(38.1%) 第3次産業……63,975(55.2%) <small>生産総額:百万円</small>	■阿蘇市役所まで 北側復旧道路 阿蘇ICから 約13.8km 九州自動車道 熊本ICから 約53.0km JR 宮地駅 約1.8km JR 阿蘇駅 約6.0km
人口構成比	教育機関	高等教育機関	
15歳未満……11.2% 15～64歳……48.4% 65歳以上……40.4%	小学校……5校 中学校……3校 高等学校・高専……1校 大学・専門学校他……—	熊本県立阿蘇中央高高校 阿蘇キャンパス (普通科/総合ビジネス科) 阿蘇清峰キャンパス (農業食品科/グリーン環境科/社会福祉科)	



※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

阿蘇市まち・ひと・しごと創生推進計画

産業の育成や新産業の創出

(SDGs)関連するゴール



- 基本目標 1** 阿蘇市の産業を支え新たな雇用を創出する
「農業」「観光」「商工業」の担い手育成・支援や地域資源を活用した新たな産業創出による「しごと」の活力創造を目指す。
- 基本目標 2** 阿蘇市への新しいひとの流れを作る
移住定住施策の展開による「ひと」の好循環による地域の活力創造を目指す。
- 基本目標 3** 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
人材育成を地域創生のはじまりと位置づけ、郷土に誇りを持って未来に進む若者を応援し、多様な可能性にチャレンジする人材を支援する。
- 基本目標 4** 安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
慣れ親しんだ地域で安心して生活ができるよう、買物等の交通手段の確保と全戸に整備している光ネットワーク機能を活かして市民サービスに努める。

阿蘇市

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1 自然環境の維持保全と世界文化遺産登録を目指して

阿蘇は九州6河川の源流を有する九州の水がめであり、広大な草原や森林も一翼を担ってきました。これからは放牧や野焼き等の草原維持及び森林が持つ多面的機能を企業様及び地域と一体となり持続的・発展的に守り育てていきたい。



草原維持の1コマ

先人が守ってきた自然環境や景観、生態系、歴史ある文化財・伝統芸能等を継承し、企業の皆様とともに世界文化遺産登録を目指したい。

2 健康が一番! 元気が一番! 人口減少・少子高齢化対策

安心して子供を産み育てることができるよう行政サービスを向上させるとともに、高齢者の社会参加を促進し、地域や社会で支え合い、様々な生活課題を「自助・互助・共助・公助」の緊密な連係により解決するための取組みを加速したい。



子育ての1コマ

子育て世代の就労と育児の両立のため、就労・起業支援及び移住・定住のサポート、通勤通学や買物等への公共交通の充実、学校教育のICT化を推進。

3 持続可能な基幹産業と阿蘇ブランドの推進

世界に誇る雄大な自然と温泉、3大グルメとアクティビティなどの阿蘇ブランドにより、多くの方が国内外から訪れる阿蘇市。これまで取組んできた農林畜産業・商工・観光事業の更なる発展的進化に向け、新技術等の活用を目指したい。



火口見学1コマ

SNS等を活用したPRツールの整備や情報発信による交流人口の増加。阿蘇らしさを活かすためのブランド力の向上と持続可能な新システム導入が必要。

4 防災対策(安全安心)と復旧・復興からの発展

平成2年、24年の水害、平成28年熊本地震・阿蘇中岳の爆発的噴火等の災害後における防災機能を検証し、同時に新型コロナウイルス感染症からの再生・復興に市民・地域・企業・行政が総力をあげ発展的に取り組みたい。



防災訓練の1コマ

防災・減災・国土強靱化の推進、安全な暮らしの確保、交流人口増加による地域経済の回復、若年層の流出抑制など人口減少対策の早期実施が必要。

重点プロジェクト

世界最大級のカルデラ内を満喫し環境を未来につなぐプロジェクト

(SDGs)関連するゴール



総事業費 寄附目標額
数値目標

- 年間観光入込客数(宿泊客数)… 600万人(85万人)
- 野焼きボランティア受入牧野組合 …………… 70%

背景・現状の課題

平成24年の九州北部豪雨災害、平成28年の熊本地震及び阿蘇中岳噴火など、未曾有の大災害が相次ぐ中、先人から受け継がれてきたかけがえない貴重な財産を官民共有の宝として未来に引き継ぎ、住む人も訪れる人も魅了できる世界レベルの観光地として自然環境や景観を守り残していく必要があります。

阿蘇の美しい草原は、千年以上も前から採草・放牧・野焼き等によって守り継がれてきましたが、何もしなければ草原は森と化してしまいます。現在、ボランティアをはじめ地域内外の方々から支えられてきましたが、過疎化や高齢化による担い手不足等により維持が困難になっています。



文化的景観の1コマ

事業の目的・内容

阿蘇くじゅう国立公園内に位置し、世界文化遺産登録を目指す阿蘇の草原などの自然環境は、野焼きをはじめ人々の営みにより守り継がれてきたものです。国内最大規模を誇る阿蘇の草原には、絶滅危惧種の「オグラセンソウ」などの希少植物をはじめ、約600種の植物が生育し、昆虫、生物なども生息し、その草地を保つ野焼き作業は、水資源の確保や二酸化炭素削減の一助となっています。

しかし、人口減少や高齢化等で自然環境や景観維持が困難になってきており、多くの方のご協力が必要です。また、阿蘇の自然の恵みを多くの方が享受できるように観光地としての整備も求められています。

阿蘇の草原、水資源、生態系、温泉、景観、環境などを後世に継承するための事業を進めます。また、自然環境を生かしたテーマ性やストーリー性のあるイベント、アクティビティ、観光メニュー等を企画するとともに、国内外の多様な人々が交流するサステナブルな観光地として、景観に配慮した周辺整備に取り組みます。



パノラマサイクルの1コマ

寄附の具体的なメリット

阿蘇の象徴でもある火山、千年の草原、九州の水がめといわれる水資源などの環境を守ることで、SDGsや脱炭素化等につながり、併せて景観に配慮した周辺環境を整えることで、世界ジオパークや世界農業遺産に認定されている阿蘇地域の持続可能な観光地域づくりに寄与できます。

寄附申出書の事業名選択時は「第2期阿蘇市まち・ひと・しごと創生総合戦略全事業」を選択してください。

重点プロジェクト

阿蘇の大地で夢に向かって踏み出す子供達の成長応援プロジェクト

(SDGs)関連するゴール



総事業費 寄附目標額
数値目標

- 阿蘇市に居住する0歳から12歳の子供を有する世帯の数を10%増加

背景・現状の課題

本市では、少子高齢化や人口減少が顕著になってきており、令和4年4月、阿蘇市全域が過疎地域に指定されました。背景としては、平成28年熊本地震及び阿蘇中岳噴火などの自然災害等による人口流出に加え、コロナウイルス感染症の影響も重なり、出生数が激減しており、阿蘇の大自然を舞台に、心身ともに健やかに成長できる子供達の環境を整える必要があります。

令和元年から本市の出生数が著しく減少しており、安心して子供を産み育てることができるように、教育・福祉・保健など行政サービスの更なる質の向上が求められます。また、都市部への子育て世代の流出抑制のため、阿蘇市独自の特色・魅力ある子育て環境の充実整備が必要です。



授業風景の1コマ

事業の目的・内容

少子高齢化の進展等により、地域の伝統行事や文化継承が難しくなっており、併せて各種産業の担い手不足等により、地域の活力が失われつつあります。

特に、出生数の減少は地域に与える影響が大きく、地域や社会で子育てを支えるための支援サービスの充実強化を図る必要があります。阿蘇の大地で逞しく生き生きと夢や希望に向かって成長する子供達を応援できるハードとソフトの両面からの環境整備が求められます。

未来を担う子供達が阿蘇市で育んだ「豊かな心」と「確かな学力」で、将来、グローバル社会の中で大きく成長し活躍できるような発展的取組みを目指します。

子育て世代の就労と育児の両立をサポートし、安心して仕事・生活ができる家庭環境と子供達の健全な育成を支援します。英語教育、ICT化による教育分野の充実、多子世帯の経済的負担の軽減、スポーツ施設の整備、子供達の可能性を広げられる応援体制の整備など、多様な人材育成の充実強化を図る取組みを進めます。



子供神楽の1コマ

寄附の具体的なメリット

世界最大級のカルデラの中で育つ子供達の成長を応援することで、企業様のイメージアップに寄与できるものと考えます。また、温泉地でもあり、スポーツ合宿の里として本市の運動施設や児童公園等の環境を充実させることで、地域内外の多くの方々との交流促進が期待できます。

寄附申出書の事業名選択時は「第2期阿蘇市まち・ひと・しごと創生総合戦略全事業」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。